

突然、湿疹ができました。皮膚科で金属アレルギーといわれたのですが、心当たりがありません…。

A 口の中にある歯科材料が原因かもしれません。口腔内のメタルフリー治療をオススメします。



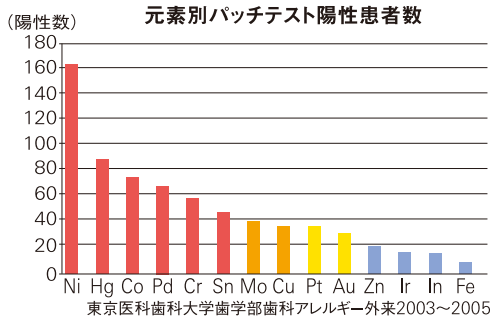
プロフィール

医療法人浜口歯科 院長 浜口順弘 先生
 岐阜歯科大学歯学部卒業後、徳島大学歯学部 歯科第一補綴学講座勤務。平成5年に医療法人浜口歯科設立。日本口腔インプラント学会会員、日本顎咬合学会会員、SJCD会員、国際歯周内科学研究会会員。

現在歯科保険治療で使用されている「銀の詰め物」「銀のかぶせ物」と呼ばれている金属は非常に使い勝手の良い金属として長年歯科治療に用いられてきました。しかし不安定な合金は腐食し、イオン化してそのまま体内に入り込み、蓄積され、金属アレルギーの可能性を挙げられるようになりました。金属アレルギーは金属がイオン化して溶け出し、体内のタンパク質と結合しアレルギーとなることで生じます。口腔内の金属によって引き起こされる金属アレルギーは、口腔内だけの症状にとどまらないケースが多々見受け



歯科治療用金属では一般的にニッケル、水銀、コバルト、パラジウム、クロムが問題となります。アレルギーを起こしにくい金属と



られます。たとえば皮膚の炎症を一つ取ってみても、その発症部位は顔・首・手足など多岐にわたり、必ずしも口腔付近に現れるとは限らないのです。

「歯科治療を受けてから、体調がどうもすぐれない」「元々治りにくい口内炎や皮膚トラブルがある」「ネックレスや指輪などの金属製がかぶれやすい」という方は、ぜひご相談ください。



して一般的に金、白金などが挙げられますが、金などでもアレルギーを発症するケースも見られます。口腔内の金属や歯科材料が該当疾患の原因として疑われる場合は、より安全性の高い材料に置き換えること（原因除去療法）が望まれます。日本ではまだ馴染みのない「メタルフリー治療」ですが、世界的には加速的に金属



を使用しないメタルフリー治療へと移行してきています。ここ数年のセラミック材料の急速な進化、コア材の進化（ファイバーコア）によりメタルフリー治療が可能となりました。金属アレルギーを引き起こさない素材としては、セラミックが代表的です。当院では特に、審美性・耐久性の高いオールセラミックの使用を推奨しています。

医療法人

浜口歯科

徳島市二軒屋1-26 ☎0120-814-825

☎088-623-8148 6台

http://hamaguchi-dental.com/

★詳細はP60

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	○	○	○	×	○	○	×
15:00~20:00	○	○	○	×	○	○	×
※祝日は休診							